



生徒と創る学びの情景

教師と生徒全員で創る授業

高知県立高知国際中学校・高校 徳橋佑哉 先生



国際バカロレア認定校として掲げる学校教育目標「国際社会の発展に貢献する人材の育成」に向けて、自分の考えや思いを伝える対話力を重視する徳橋先生。担当する化学では毎授業、2人の生徒がクラス全員の前で、事前に調べてきた授業の学習内容について発表する。「授業前に発表者が発表内容について相談に来ることもあります、その際は私の考えにはめず、生徒一人ひとりの着眼点や表現の仕方の違いを大切に、生徒と一緒に授業を創る気持ちで接しています」と語る徳橋先生。浸透圧を担当した生徒は、きゅうりを持参し、塩の量による水分の抜け方の違いを実演。生徒たちの記憶に残る学びとなった。「先生が『実演するのは面白いね』と背中を押してくれたので、思い切って発表できました」と、生徒は振り返る。

発表後は発表者と徳橋先生を含むクラス全員で質疑応答を行う。その場で答える緊張感や考えを巡らせる間が、対話力を鍛える。発表者が想定外の質問に詰まっていると、周りの生徒が調べて助け船を出す。「誰もが発表者になるからこそ、全員で協働して学びを創り上げるという意識で授業に臨んでいます」と話す生徒たち。伝え合い、協働する学びは、生徒が世界へと羽ばたくための礎を築いていく。

とくはし・ゆうや 同校に赴任して5年目。高校1学年主任。企画研修部。理科（化学）。

高知県立高知国際中学校・高校 2018（平成30）年設立／全日制／普通科、グローバル科／共学／1学年約280人／2025年度卒業生進路実績 国公立大は、東京外国語大、神戸大、高知大、九州大などに120人が合格。私立大は、同志社大、立命館大などに延べ187人が合格。海外大進学2名。

「VIEWnext」高校版に関するお問い合わせは

お客様サービスセンター

右記の2次元コード、または下記URLから
お問い合わせフォームにアクセスいただき、お問い合わせください。

<https://benesse-hs.jp/nm2gq>

